

何トン収穫があったという数字をできたら教えていただきたいと思います。それは後日でも結構です。時間がございません。

いろいろ申し上げました。今国もまた大きく変わろうとしております。やはり私たち対馬の経済も非常に冷え込んでおりますが、畜産部門は微々たるものかも知れませんが、今後力を入れていただきたいと思います。誰の言葉か忘れましたが、今を楽しみなければ花を見よ、そして1年後を楽しみなければ種をまけ、そしてさらに100年はあんまりですが、20年、30年後を楽しみなければ人を育てよという言葉聞いたことがございます。本当に教育は人づくりの基本でありますし、さらなる御尽力のお願いをしておきたいと思います。

そして、最後になりましたが、教育委員会においては、今年の1月15日、特にといいいますか、知的障害者で組織する瑞宝太鼓の公演の開催をしていただきました。立ち見の中で、ああいう多くの観衆に勇気と感動を与えてくれたものと私は感じております。彼らは障害を個性として捉えて、プロとして平成13年から日本各地、あるいは今年はアメリカ公演まで実施されているプロの集団です。今年2月に第二弾として比田勝公演を実施していただくことが教育委員会で決定されたそうでございます。どうか今後学校教育、あるいは生涯学習も含めた教育行政に取り組んでいただきますようお願いをしておきたいと思います。

ちょうど時間となりました。ありがとうございます。

○議長（作元 義文君） これで18番、小川廣康君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。開会を11時から行います。

午前10時51分休憩

午前11時01分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） おはようございます。新生クラブの堀江政武です。よろしくお願いをいたします。さきに通告をしておりました3点につき質問をいたします。

1点目の尾浦地区から安神地区クリーンセンターに通じるトンネルの建設についてであります。市長は以前から、このトンネルの建設について前向きに取り組む発言をされておりましたが、その時期ははっきりしておりません。建設を考えてるのであれば、いつごろの予定をされているのかお尋ねしますという質問の通告をしておりましたが、先日の補正予算（第5号）で、この道路の測量、設計委託料が組まれており、この道路、トンネルの建設を始めていただけることがわかり、大変ありがたく思いますし、またこの地域の方々も大変喜ばれることと思います。

しかし、まだ土地の問題等もありますし、本着工まではまだまだ時間もかかることと思いますが、私たちもできる限りの協力はしなければならないと思っていますところでもあります。この路線については、まだわからない部分も多くありますので、全体計画といつごろ、どこまでできるのか、また完了予定時期等を想定をしてあるのであれば、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、2点目の白血病検診についてであります。

対馬市には白血病の方が多いと聞きましたが、集団検診の中に白血病検診も加えることはできないか、お尋ねします。

私は勉強不足もあり、この白血病については今まで話を聞いたことはありますが、この対馬に多いということは知りませんでした。友人より聞き、初めて知ったところでもあります。集団検診の中で実施されている主な検査は、大腸がん、胃がん、肺がんの検査であります。この対馬市に多いと言われる白血病検査も加え、早期発見をすることは非常に重要だと思いますが、市長はどのようにお考えか、お尋ねをいたします。

次に、インフルエンザ予防接種について、13歳から65歳までの方々にも幾らかの助成はできないかについてお伺いします。

この予防接種につきましては、現在、65歳以上の方々、また12歳以下の子供たちには、1回につき2,100円の助成がなされ、1,500円の負担で済むとのことですが、13歳から64歳までは助成がなされていないため、1回につき3,600円の接種代がかかるとのことあります。当然2人家族では7,000円かかることになりまして、子供がいる場合は相当の負担となり、受けにくい状況になります。幾らかでも助成をしていただき、多くの方々がこの予防接種が受けやすいようにしたらどうかと思いますが、市長のお考えをお尋ねします。

質問は終わりますが、再質問は後ほどさせていただきます。

以上です。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 堀江議員さんの質問に答えさせていただきます。

1点目の巖原南部の特に東海岸の道路の問題でございます。

これにつきましては、先ほど御質問の中でありましたように、今回の補正に委託料の計上をさせていただいてるところであります。この道路につきましては、尾浦から浅藻までの基本設計を組みたいというふうに思っております。浅藻までといいますと、結構な距離になりますし、年数もかかろうかと思っておりますけども、全体延長の中で皆さんの地域の方の利便、そして観光とか、いろんな面で生かせる道路になるのではないかと考えております。

また、安神地区には対馬全体のごみの焼却場がございます。クリーンセンターがございますが、このクリーンセンターへの搬入というものをいかに短い距離で、そして時間を短縮していくかと

いうこともこれから対馬市行政上も大変大切な問題であります。

そういう部分、そしてさらには少子化が進む中、学校の統廃合が進んでおります。これらに子供たちに極力通学時間というものを短くしないといけないと思っております。いろんな要因がありますが、これらは市議会の国県道路整備促進特別委員会においても、ずっと協議をしていただいておりますけども、また約2年ほど前ですけども、この県道の整備を進めていくためにいろいろ要望を重ねてきましたけども、県内の市町村のさまざまなバランスとかいうことの中、そしてもう既に事業費的には結構な事業費が投入されてるということで伸び悩む、どうしてもその枠を超えることが、突き破っていくことができないというふうな現実が見えました。

そこで、県と市との財源をお互いが分担し合う中で、市道整備でできないかというふうな事業スキーム構築に向けて1年半以上前、2年にはなりません、提案をこちらからさせていただき、この間、県のほうともずっと詰めてまいりました。一定の事業スキームの方向が何度もやり直す中で、私どももそこまで県もしていただければという思いのところまで来ましたので、今回尾浦から浅藻までの基本的なルートというものをつくり上げていく、そして何度も言いますが、当面市道で整備をしていく方法を見つけ出しましたので、これでいきたいと思っております。

また、現時点においては、来年度の社会資本整備交付金の中に市道として入れ込んでいきたいということで、今動いております。

完了予定というお話がございました。これにつきましては、全線長うございます。さらには、皆さんとともに、今つくり上げております国境離島特別措置法の中身とも絡んできますけども、この新たな路線の中の区間について、県にやっていただくこととか、また国が直轄してやっていただくとかいうことをできれば国境離島特別措置法の中で盛り込んでいけたらと思っております。そのあたりをきちんと盛り込むことができるならば、完了年度は大幅に短くなるだろうと思っておりますし、市道でこれをずっとやっていくということになりますと、当然財政との見合いの問題が出てきます。それらをにらみながらやるということになるかと思っております。現時点において完了の年度をこの場で明示することは、お許しいただければというふうに思っております。

また、2点目の白血病の問題が出されました。

この白血病につきましては、最近では宮城県の知事をされておられました浅野知事がたしかこの白血病で苦しんであるのではないかと思います。この病気というのは、まず九州で率が高うございます。そして、九州のさらには離島部、さらには半島部、沿岸部といえますか、それらで多いというふうに聞いております。なぜ多いのかということまでははっきり解明はされていませんけども、成人T細胞白血病というふうなことで聞いております。

対馬の場合、全国平均を1とした場合、その2.5倍以上というふうな数値となっております。この平成20年から23年までの4年間を見ますと、毎年1名、もしくは2名の方が白血病でお

亡くなりになってるというふうには報告を受けております。皆さん御存じのように、白血病は血液のがんであります。ウイルスに感染後、40年、50年後に発症すると言われております。その発症率というのは、感染者1,000人に対して0.5人から1.5人というふうな数値でございます。

また、この感染経路でございますが、これがこの病気の重要なポイントであります。ウイルスに感染しているお母さんからの母乳によって子供、赤ちゃんへ感染する垂直感染の割合が最も多いと言われてます。

また、性交渉による水平感染がその次に多いと言われております。以前は輸血も原因として上げられておりましたが、現在は抗体検査が実施されておりますので、そのようなことはございません。

対馬における白血病に対する対策の今までの取り組みでございますが、対馬はどこよりも早くにこの問題については取り組んできた経緯がございます。

まず、昭和60年から平成5年までの9年間、対馬いづはら病院が事務局となりまして、その白血病のことをATLと言いますが、対馬ATL研究会というものが発足して、妊婦健診の際に抗体検査の実施をずっとしてきました。

そして、それから二、三年後、県もこの妊婦健診に対する公費助成というものを全国に先駆けて実施をしていただいたところでございます。国は、昨年1月からやっと公費負担を実施、この白血病の対策元年と言われてるところでございます。

対馬市の最近の状況としましては、妊婦健診で平成21年7月からことしの9月まで1,836人に抗体検査の実施をいたしました。陽性率は1.1%で、県平均よりも低い状況にあります。一般成人に対する抗体検査ですが、これは予約制ですが、対馬保健所で無料で受けることができますので、希望される方は御利用いただければというふうに思っております。

この予防法なんですけども、平成21年度の厚労省の発表では、今のところ残念ながら発症を予防する方法はなく、また特別な健康管理もないというふうには報告をされております。ウイルスの感染がなければ、がんは起こらないという考え方から、従来より行われております妊婦健診でのウイルス検査と授乳指導というものを今後も継続することが最も有効な予防法というふうに考えております。

また、3点目のインフルエンザ予防接種の問題でございます。

13歳から64歳まで幾らかの助成はできないかというふうな御提案でございますが、現在、対馬市では今年度いろんな予防接種の経費、費用というものは約7,500万円です。そのうちの2,500万円というものは、このインフルエンザに係るものです。23年度に対しまして1,000万円増の予算措置をしております。

質問の13歳から64歳までの接種に対して公費助成はできないかというお話でございますけれども、現時点におきまして高校生から64歳までの方に助成をしているところというのは、県内で1自治体しかまだないような状況であります。1自治体しかないからというのと公費負担を始めるのとは違うんじゃないかという話もございましょうが、今の財政の中で一生懸命私どもとしては毎年捻出できる幅を広げてるところであります。そのような事情もわかって理解していただければというふうに思います。

○議長（作元 義文君） 10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） まず、トンネルのことでございますが、現在では、今の補正では尾浦から安神だけの設計といたしますか、測量予定なんですか、浅藻までずっと、いや、さっきそういう話を何かされたみたいにあって、ことしは尾浦と安神だけかなと思っておりましたが、それはたしか1万メートルぐらい何か測量じゃなくて、設計上に出てみたいですが、浅藻まで補足説明の中にたしか説明書にあったんですよ。

だから、実際に測量とかやるのは2,500メートル、その1万メートルというのは尾浦から安神だけじゃなくて、先までやれるんじゃないかと思っておりましたが、違いますか、また後でそれは言うていただければいいと思いますが、市長の話では来年の社会資本整備事業にこれを入れたいということで、またさらに国境離島特別措置法の中でこれができるれば先に進むんじゃないかというような話でありました。この尾浦―浅藻間の道路については、浅藻までは私たちは考えておりませんでしたけど、今までずっと前から下のほうを通れば相当早くなるし、いいなという話もしたり、思いはありましたが、無理だろうというようなことが先に立って、そちらのほうはあまりお願いはしてこなかったんです。

今回クリーンセンターに通じるトンネルのことで、市長が大変力を入れてくられて、下のほうを尾浦から安神に向けてのトンネル、また安神から久和に向けてのトンネルかどうか言ってありませんが、私はトンネルと理解しておりますが、そういう構想を持っていたらと、そういうことをやろうというような話のようでもありますので、これは非常に大きな構想の大事業でありまして、地域の方々が非常に喜ばれると思いますし、また言われますように、観光、通学、品物の搬送、いろいろな面で非常に迅速に対応できるということで、皆さんが助かるんじゃないかと思います。

私たちは諦めに似た気持ちでしたので、今現在の主要地方道のお願いをずっとしてきたわけです。現在、久田トンネルまで15年ぐらいかかって改良していただきまして、今完了した時点から、今度は新久田トンネルから内山坂トンネルに向けてここ数年知事のところへ行ってお願いしてきているわけです。

市長がおられないときは副市長が来ていただいて、知事に直接お願いをしたわけですが、知事

ももう少し時間をくださいというような話でしたけれども、何か動きもあったような話も聞いておりますが、それはそれとして、私たちは近い、ここ数年来のうちには内山坂トンネルまでの改良は入れていただきたいと、ずっと知事をお願いするつもりですけど、今の下の道路につきましては御承知のように、安神の峠からクリーンセンターまでは相当の高低差があつて、なかなか広い道路を真っすぐということは無理といたしますか、難しい感じですよ。

ですから、このことについては尾浦から安神にトンネルをつくっていただくということが一番いいということだと思います。事故も起こっておりますので、このトンネルについては早い時期に取りかかっていたいただければと思います。

もう一つは、きのうの補正に出ました委託料の問題で、下を通すのであれば市道で、現在の内山坂トンネルに取りつけるような構想があるのかどうかという話もありましたので、そのことにつきましてもちょっとお尋ねをいたします。

次に、白血病について伺いますが、私もドラマで見るぐらいしか白血病についてはあまりわかりませんで、ある程度のことはわかっておりましたけど、今回のことで、少し医師にお聞きしたり、保健師さん、また本を読んだりして少しはわかりましたけど、市長が言われますように、九州にこれは多いそうなんです。九州でも、五島、壱岐、対馬に比較的内地のほうと比べて多いそうです。

ですので、先ほど健診をしたんだと言われてましたのは、母からの感染を防ぐために母親の健診です。母親の健診をして、もし母親に白血病の疑いがあれば、母親をよく検査をして、白血病だとわかれば母乳を1年間やらないようにすると、そうすることによって感染を防ぐということを医師からも聞きましたし、保健師さんもそういうふうに言ってありました。

ただ、一般は全然してないわけですので、一般の方々が白血病かどうかを特定健診の中に入れていただいたらどうですかということを私はお尋ねをしているわけですが、先ほどは保健所でやっておられますよと言われてましたけど、私もよくその辺はわかりませんでしたが、それはそれとして保健所で検査をするにしても、個人個人が一人一人行くのはなかなかおっくうといたしますか、行きにくい点もありますので、集団検診の中で大腸がん検診と一緒にこの検査もどうですかということを入れてもらって、1回そこで受けて、保健所に今度は一緒に持っていただくというようなことができればなおいいと思いますが、その辺のお考えをちょっとお尋ねをいたします。

それから、予防接種のことですが、結論からいえば県内で1自治体やってあるということで、予算的にもちょっと無理ではないかというような話ですが、ちょっと金額は違いますけど、私が聞きましたのは、インフルエンザ接種をした方々は対馬全体で7,305人です。金額が1,569万円、その中の6,000人が65歳以上で、全体の80%ということであります。7,000人の中の6,000人は65歳以上、ですから一般の方々はそう全島では多く行ってな

いと、65歳以下はということになります。これは23年度ですけど、私がなぜこのことを質問したかといいますと、市民の方々、特に若い方々が最近給料も非常に下がりぎみで、生活が厳しいということで、夫婦で言いましたように7,000円かかり、また子供が2人、3人おったら、12歳以下は2回接種しなければなりませんので、この子供たちも相当の費用がかかるので、どうかしてもらえないんでしょうかという話を聞きましたので、私も質問したわけです。

確かに予算のことはありまじょうが、1自治体はしているところがあるということですけども、市の予算の322億の中の0.1%で3,200万です。1,500万ですから、まだまだ0.1%に満たない。この0.1%の3,000万を健康のために使うのはどうかということになるんですけど、これは予算編成権を持つてる市長の考え方もありますが、一般の市民の方々や議会が健康のためならそのぐらいいいのではないかと、そういう理解があれば、予算のこともあるんですけど、私は幾らか、せめて子供を持ってある方には助成を幾らかしてもいいのではないかという思いがします。市長のまたそのお考えをお聞きしたいと思います。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 1点目の件でございますが、ちょっと整理をしたいと思ひます。

今回委託料で上げております部分で、まず尾浦から浅藻までの全線の概略設計というものを、まず組みたいと思っております。また、今の交付金並びに起債の状況等いろいろ当たってきてるんですけども、それらを考えますと、尾浦から安神までの概略設計ができた後の、尾浦から安神までの間の実施測量というものをあわせて今回予算を計上させていただいております。

また、堀江議員さんがおっしゃっておられます久田のトンネルから内山坂トンネルまでの間の問題、この県道は、あの部分につきましては久田トンネルから久田におりていくところまでもそうですが、主要地方道巖原豆殿美津島線と瀬浦巖原港線の2つの路線が重なり合ってる部分であります。できますれば、この久田トンネルから内山坂トンネルまでの区間につきましては、瀬浦巖原港の考え方で物事の整理をしていければと思ひてます。

そして、今予定をしております市道の分につきましては、久田のトンネルから尾浦地区のほうにおりていきまして、一定の高さのところから安神のほうにトンネルをというふうな考え方しております。これから主要地方道巖原豆殿美津島線の東海岸の部分については、下の市道が担っていくみたいな形で考えていただければというふうに思っております。

それと、2点目の白血病のお話でございますが、一般の検診と合わせたらどうだろうというお話がございました。それも一つのやり方かなというふうには思ひます。私、先ほど保健所において無料で抗体検査ができますという話をしましたが、自分が陽性反応が出て保菌者だというふうに分かったときに、発症までに40年、50年、いつ出るかわからないというものを抱え込むことになるものですから、そこについてはその検査を受ける方の意思というものがある程度明確に

ないと、心構え等が要ろうかと思っております。そこについても1回クリアしなければいけない部分もあります。それらを考えながら、今御提案あったことが可能かどうか、こちらとして研究したいと思えます。

それと、インフルエンザの件がございました。

このインフルエンザを子供たち、そして65歳以上というふうにある意味しておりますのは、インフルエンザにかかれたときに、そのインフルエンザから重篤化する可能性が高い子供たちと年長者の方たちを想定をして、ここにインフルエンザの予防接種助成を組み立てておるつもりでございます。その間の人たちが重篤化しないかといいますと、それは必ずしもそういう断定はできませんけども、体力がございまして、重篤化に向かう率が低いのではないかとこのところ、こういう組み立てを現時点においてははしてるといふことも御理解いただければと思えます。

○議長（作元 義文君） 10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） 市道のことにつきましては、私がお尋ねをしました内山坂トンネルからどういうふうに取りつけるか、そういう話ですけれども、市長はこの内山坂トンネルから新久田トンネルまでは瀬浦巖原港線がこのコースに入っているの、現在の主要地方道で改良したほうが良いというような話でしたよね。ですから、内山坂トンネルからおりて、下の市道につながるあれはないということだと思います。ですよ。

○議長（作元 義文君） 一問一答でやったほうが、道路の問題については早く理解ができると思えます。

○議員（10番 堀江 政武君） はい、どうぞ。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今予定をしておりますのは、現道の県道が山の中腹というか、上のほうをずっと走ってる昔の軍道でございます。そして、集落におりていく、そして集落からまた県道に戻って次の集落に行くというふうな大変利便性の悪い道路であります。できれば新しい市道というものは集落と集落に直に入れば一番いいんですけども、なかなかそうならないところもあるでしょうけども、極力そのようなルートを選んでいきたいと思っておりますので、現在の県道との接続というのは、ある地区によっては低いところを通ってる県道であれば接続はあろうかと思えますが、明らかに集落と差があるところについては、そこでは接続をしないことにもなるかと思えます。

ただし、今後集落のほうに入っていく中で、トンネルの場所等についてはこちらサイドの施工上の問題とかいろいろありますので難しさがありますが、集落に入るか入らないか、集落のどの近辺を通していったほうが一番いいのかということについては地区の方とも一定の協議をしながら、皆さんとよりよい市道の方向性を見つけていきたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） よくわかりました。市長の言われるとおりにじゃないかと思えます。私もけさ来るときに内山坂トンネルから下を見ますと、下のトンネルの市道につなぐのはちょっと無理かなという感じもしましたが、下の隧道が上に上がれば角度はないようになってきますけど、下やったら相当の角度がつきますので、ちょっと無理かなという感じはしました。

それはそれで進めていただければいいと思いますが、もう一つちょっと答えていただかなければいけないことは、安神から久和間はトンネルを考えてあるんでしょうか、その辺をちょっと。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） できれば子供たちの通学路、そして皆様方といいますか、救急救命のことを考えた場合、やはり時間を短縮したいという思いがありますので、トンネルという選択が最も実現性が高いのではなかろうかと思っております。

○議長（作元 義文君） 10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） トンネルを考えているということですが、先ほど言いましたように、私たちが思いながら、これは無理だろうというふうに諦めていた路線を市長が努力されて、大体頭まで市道でやろうと、現実味が帯びてきたことに対して大変私はありがたくも思いますし、これがもしできることになれば下のほうでは初めてのすごい大きな事業だなと思っておりますので、ぜひできるように進めていただきたいと思えます。

もう一つは、二、三年ぐらい前でしたか、こういう話がちょっと出たときに県議の田中愛国先生より市長に進言したらどうかということに進言しておりました。私たちが道路のお願いに行ったときに田中先生が自衛隊はないのかと聞かれまして、いや、ありますと言いましたら、それは周辺整備事業が相当な予算があるんだと、それを進言しなさいということで、私は市長に自衛隊の周辺整備事業にのせればかなりの予算があるそうですよと、ぜひということを話しておりましたが、こちらのほうは話をされたんでしょうか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） この国と話を持っていく前に県のほうと全体の事業スキームというのを構築する段階、そしてまた構築の最終版のところ、県のほうのお話では当然起債単独事業だけで物事をやっていかれても、県としてはのりかねると、その話には。要するに、交付金があつて、この事業スキームは始まるというお話で決着を見たところです。その際に、国のありとあらゆる交付金、どこでもいいのかということの確認をとらせていただきました。そのとき、どこでもいいんだと、交付金さえ入ればいいというお話がございましたので、実は、最初に防衛省関連のところから1週間後ぐらいですか走っていきました。なかなか、安神までの話でありましたら、当然下警があそこには竜ノ崎にはいらっしやいます。防衛省にのりやすいのかなというふ

うに思っ行ってきましたけども、現時点においてそれだけの予算というものの見込みは立ってない
ということの返答がありましたので、その後、国交省のほうに走って、全体の浅藻までの話とし
て、また、別もう一路線も含めて話を持って行って、対馬全体の方向性というものをお示ししな
がら、道づくりのあり方というもののお話で一定の理解をいただいて現時点に至っているとい
ふに御理解いただければと思います。

○議長（作元 義文君） 10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） 国の補助事業でできればそれにこしたことはありませんで、そ
ういう補助の大きな事業があればそれでいいと思いますが、その竜ノ崎だけに向かう道路じゃな
くてその他、自衛隊の基地があればその周辺の整備をするときに防衛省の予算があるというこ
とを聞いておりましたので、私は市長のほうに進言したことを今思い出して話をしてるんです
が、またそういう、機会があればそういう予算も使われるようであれば、そういう予算も入れて
したほうが早くできますし、お願いをしたいと思います。

それから、白血病のことについて、保健所でやってもいいが、それがわかったときに本人の心
構えがあるんでというような話もありました。わかったらちょっと、本人が心が痛んでというよ
うなそういう話だと思いますが。確かにそれはあると思います。あると思いますが、私も医師と
かいろいろ話をしましたし本もちょっと読んでみましたが、今はがんの告知も本人にして、友
だち、両親はもちろんですが、両親、家族、友だち、医師、みんな一緒になってカバーしてやる
と、ケアをしてやると、そういう時代であって、わからずにずっと先に進む、病気が進んでいき
ますんで、やはり早く知って早く養生するというのが、早期発見ですよ、早期発見、早期治
療、それが大事だということが言われておりますんで、もしそれがわかっても、皆さんでそれを
支えて治していくということが私は大事だと思います。

もう一つのインフルエンザのことですが、言われるように、早く言えばうつりやすいといいま
すか弱いといえますか、年長者と年少者ですよ、このことを重点にやっているということのよ
うですが。言いますように、市民の健康を守るという意味から、それに限らずやっぱ、子供の多
い方は経済的な問題ですけど、この島を、自然環境もいいですけど、そういう病気にかからない、
病気がない、そういう自然環境をよくしていくこともやはり市長の役目ではないかと思うんです。
ですから、ある程度の予算は要るかもしれませんが、そういう市民の健康を守るという観点か
ら、私は積極的にもう少し考えてほしいかなと思います。その辺はちょっと、もう少し、インフ
ルエンザの助成についてお聞かせいただきたいと思います。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先ほど申しました一般健診の際の抗体検査の導入という話でございます
が、これにつきましては、陽性反応が出た場合、この白血病について今のところ厚労省のほうで

は発症を予防する方法がないと。さらに、その陽性反応が出た後の健康管理のあり方というもの
が確立されていないという中で、陽性反応が出た場合、その方、ある意味ATLの保菌者ですね、
保菌者と自分自身を感じることに、そして次の方策がない、けども、抗体検査を受けるという一定
の心構えがないと難しさがこの問題にはあるというふうなことを市民の皆さんも理解をしていただ
きたいなと思います。

それと、インフルエンザの件でございますが、もう全ての方々に助成をするのが最もいいの
かもしれませんけども、また財源見合いの話ともなりますので、それについては今後の研究にさせ
ていただければと思っております。

○議長（作元 義文君） 10番、堀江政武君。

○議員（10番 堀江 政武君） 白血病については、その病気の種類によって何十年も出ない白
血病と感染して出る白血病、小さい子供といますか、若年層も一緒になって出る白血病とかい
ろいろあるそうですよ。ですので、今の市の検査でいろいろ白血球とか赤血球とかありますけど、
その患者は医師に私直接聞きましたけどわからないと。血液検査を専門に出して初めて疑いがあ
るとかどうかわかり、その次、わかった方々が骨髄検査をするそうですよね。その血液でそうい
う反応が出たら、その次に骨髄検査をやり、ここで大体、この人は大体白血病に間違いな
いとい
いますか近いということがわかれば、さらにCT検査とか細菌培養検査をするそうです。

そういう過程がずっとあって初めてわかるそうなんですけど、先ほど言いますように、そういう
白血病をみんなが何十年もウイルスが潜伏して出ないということじゃなくて、そういう白血病も
あるし出る白血病もあるということですので、市長の気持ちもわかりますが、それは受ける個人
の権利ですから受けようと思えば受ける、受けないと思えば受けなくて済むわけですから、受け
るような態勢をとってやることは私は大事だと思うんです、検査を受けるですね、集団検診の中
で。それは個人の自由ですから受けない人は受けなくていいし、受ける人は受けるでしょう。
今、大腸がん検診もそうですから、自由ですから。胃がん検診も。希望者は受けてくださいとい
うことですから、そういう態勢をとっていただいたらどうでしょうかということなんです。

インフルエンザのことについては検討してみようということでございますので、ぜひ、いい方
向で検討をしていただければと思います。

市のほうも、健康つしま21計画ですか、きのうもお話がありましたけれども、これに取り組
んで、市民の健康には大変気を使って活動も保健婦さんもされておりますが、特定健診で平均
35%ですよ。40歳以上ですが40歳台は大体16か18%ですよ、受けてないんですね、
あまり。16%ぐらいじゃなかったかと思います。トータルで35%ということなんで、これは
もっと市民の方々に健康に対しての認識を深めてもらいたいし、深めるように市も努力をしてい
ただきたいと思います。

ちょっと、本で見たんですが、（「堀江さん、時間が」と呼ぶ者あり）あ、済みません。終わりますけど、済みません。ちょっとこれだけは、ちょっと言わせてもらいますと、調査によりますと、5人に1人が対馬の市民の方々はあまり健康じゃない、健康じゃないと感じていらっしゃるそうなんです。5人に1人は、これはやっぱり大きな数字だと思いますが。もう一つは平均寿命、この平均寿命が国は男子で78.8歳、対馬市は76.8歳、女子では85.8歳が国で84.9が対馬市で、平均寿命も対馬市が県でも一番低いそうなんです。ですからこれを含めて、健康についてのさっき言いましたような、もっと自覚するような市民がですね、啓蒙をしていただければと思います。

ちょっとオーバーしましたけど。これで質問を終わりたいと思います。

○議長（作元 義文君） 以上で10番、堀江政武君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 昼食休憩します。午後は1時から開始します。

午前11時53分休憩

午後0時59分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、16番、糸瀬一彦君。

○議員（16番 糸瀬 一彦君） 改めまして、どなたもお疲れさまでございます。

私も、B-1グランプリですか、対馬とんちゃん部隊の準優勝に輝いたことに対し、心からお祝いを申し上げたいと思います。また、市長はじめ地元議会議員の同僚の皆さんも喜んでいただいていることに対し、心からこの場をかりてお礼を申し上げたいと思います。

実は、きのう御紹介がありました対馬ソムリエに就任いただきました世界の王さんの娘さん王理恵さんの御挨拶を受け、すばらしく意気込みを感じたものであります。2期目の財部市政の熱意のあらわれかとも思って高く評価するところであります。

王理恵さんが率直に言われましたように、インターネットですか、影響がすごく大きいと、こういう話がありましたが、次の段階である問題は、PRができて対馬に対する足の便です。これが私は非常に問題になろうと思っております。年の瀬を迎え、正月を家族で過ごしたくても、本土から子や孫が呼べない、そのような状況が現実かと思っております。

ところで、今は格安運賃の航空機とかそういう時代が来ておりますので、今回、改めて感じることは公共料金の格安の運動ですね、これからお願いをしておきたいと思っております。

それでは、通告に従いまして質問をしてみたいと思います。

私は天然記念物のヒトツバタゴ群生地の保護施策について再三にわたる対策をお願いしてきま